

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	雪エネルギー推進事業
事業主体 (連絡先)	飯山市 飯山市大字飯山1110-1
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	680,550円 (うち支援金: 544,000円)

事業内容

現在、雪室として利用している施設にて温度湿度の管理や、雪室内での商品の管理を行い、商品等の味の変化、出荷時期の延長など雪室効果を実証しながら、開発した商品等をPR販売していく。また、雪室自体のPRも行った。

①雪室利用商品開発

雪室熟成そば、そばつゆ(レシピ)、豚丼のたれ(レシピ)の3品

②いいやま雪室PR

銀座 nagano 内堀光康氏セミナー講演

銀座 nagano 広報誌「つなぐ」掲載

長野県環境保全協会広報誌「エコシン」掲載ほか

③雪室内スペース有効活用のための環境整備。

事業効果

①いいやま雪室に関連する商品の開発を行うことで地域の活性化につなげる商品開発を行うことができ、雪室商品の増加に繋がった。(R1: 5品目 → R2: 9品目)

②セミナーや各種広報誌等に記事を掲載し、広く雪室をPRすることが出来た。さらには脱炭素チャレンジカップ2021において全国144のエントリーから飯山市雪エネルギー検討会議が「雪室を利用した地域の特色ある商品開発」で文部科学大臣賞を受賞するなどし、クリーンな自然エネルギーである雪を活用した取組が評価され全国へ発信することが出来た。

③かご台車(移動できる台車)を9台導入(増車)することにより、これまでより効率的に搬入出が可能となり雪室内スペースがさらに有効活用出来たことにより、利用者が増加した。(R1: 6事業者 → R2: 8事業者)

今後の取り組み

東京などでのPRの見通しがつかないため、来年度は市内で雪室熟成そばを初めとした商品などを味わえる「真夏のいいやま雪室まつり」を実施したい。その祭りの中で「雪室体験」を行い、体感して頂くことなどで市民の皆様様に「いいやま雪室」を地域資源として周知し、いいやま雪室のブランディングを目指す。また、今後もスペースを有効活用出来る取組を行い、雪室の収容能力を増やし本事業への参加者数と商品の在庫数を増加させていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【文部科学大臣賞受賞】

【目標・ねらい】

- ①雪エネルギーの活用
- ②地域の農産物、商工品目の有利販売。
- ③未利用市有施設の活用

※自己評価【A】

【理由】

脱炭素チャレンジカップ2021において全国144のエントリーから飯山市雪エネルギー検討会議が「雪室を利用した地域の特色ある商品開発」で文部科学大臣賞を受賞し、各種媒体やテレビメディアなどにも露出し、全国へ取組をPR出来たため。